

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 07-204043

(43)Date of publication of application : 08.08.1995

(51)Int.Cl.

A47B 96/02

(21)Application number : 06-004191

(71)Applicant : AKAISHI KOGYO KK

(22)Date of filing : 19.01.1994

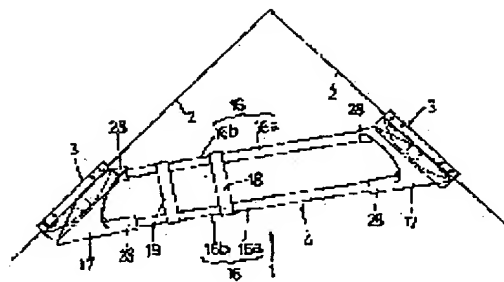
(72)Inventor : AKAISHI SOICHI

(54) CORNER RACK

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide a corner rack with a larger freedom of mounting a rack by mounting and fixing a rack rod and a support member at an arbitrary angle.

CONSTITUTION: In a corner rack 1 which comprises a pair of support members 3, left and right, mounted and arranged facing each other at a specified angle at a corner part in a room and a rack body 4 mounted between opposed surfaces of the support members 3, the rack body 4 is supported on the support members 3 free to turn relatively about a shaft center vertical.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

01.03.1994

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

2569269

[Date of registration]

03.10.1996

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

03.10.2000

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-204043

(43)公開日 平成7年(1995)8月8日

(51) Int.Cl.⁶

A 4 7 B 96/02

識別記号

庁内整理番号

FI

技術表示箇所

H

D

審査請求 有 請求項の数 7 O L (全 7 頁)

(21)出願番号 特願平6-4191

(22)出願日 平成6年(1994)1月19日

(71)出願人 390013789

赤石工業株式会社

大阪府堺市土塔町2158番地

(72) 発明者 赤石 宗一

大阪府堺市土塔町2158番地 赤石工業株式
会社内

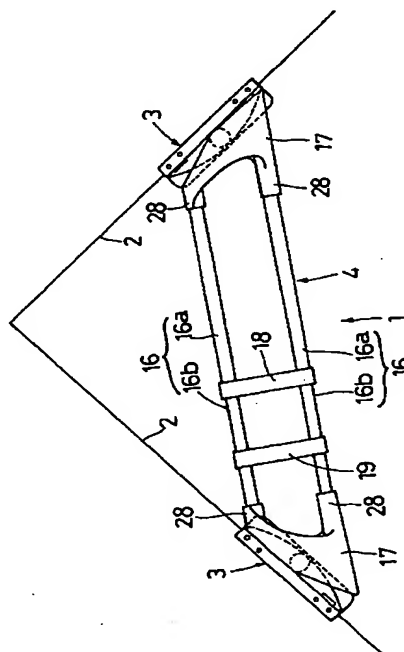
(74)代理人 弁理士 安田 敏雄

(54) 【発明の名称】 コーナ一用棚

(57) 【要約】

【目的】 棚杆と支持部材との角度を任意の角度として取付固定することができ、棚取付けの自由度が大なるコーナー用棚を提供する。

【構成】 室内のコーナー部に所定の角度をなして相対するように取付配置される左右一対の支持部材３と、これら支持部材３の対向面間に架設された棚本体４とを備えてなるコーナー用棚において、前記棚本体４を各支持部材３に上下方向の軸心廻りに相対回動自在に支持する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 室内のコーナー部に所定の角度をなして相対するように取付配置される左右一対の支持部材

(3)と、これら支持部材(3)の対向面間に架設された棚本体(4)とを備えてなるコーナー用棚において、前記棚本体(4)を各支持部材(3)に上下方向の軸心廻りに相対回動自在に支持したことを特徴とするコーナー用棚。

【請求項 2】 棚本体(4)を左右方向に伸縮自在に構成したことを特徴とする請求項 1 記載のコーナー用棚。

【請求項 3】 各支持部材(3)に上方開口状の挿入孔(25)を形成し、棚本体(4)の左右両側下面側に前記挿入孔(25)に挿入される軸部(24)を設けて、棚本体(4)を各支持部材(3)に上下方向の軸心廻りに相対回動自在に支持したことを特徴とする請求項 1 又は 2 記載のコーナー用棚。

【請求項 4】 挿入孔(25)を有底としたことを特徴とする請求項 3 記載のコーナー用棚。

【請求項 5】 各支持部材(3)を、鴨居(2)等の被取付部材の上面に取付固定される上壁部(5)と、被取付部材の正面に取付固定される正面壁部(6)と、正面壁部(6)の正面側下部に設けられていて挿入孔(25)が設けられると共に棚本体(4)の下面を載置支持する受部(7)とを備えて構成したことを特徴とする請求項 3 又は 4 記載のコーナー用棚。

【請求項 6】 棚本体(4)を、複数本の伸縮自在な棚杆(16)と、各棚杆(16)の左右端部に装着されると共に軸部(24)を有するベース部材(17)とを備えて構成したことを特徴とする請求項 3、4 又は 5 記載のコーナー用棚。

【請求項 7】 各支持部材(3)の正面壁部(6)の背面に配置固定されると共に鉛直壁面に取付固定される壁じかけ用アダプター(29)を備えたことを特徴とする請求項 5 又は 6 記載のコーナー用棚。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、室内のコーナー部における鴨居、長押あるいは壁等に取付けられるコーナー用棚に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、室内のコーナー部に設けられる棚として、実開平 3-116143 号、実開平 4-64242 号或いは実開平 4-64241 号公報に記載されたものがある。これら従来のコーナー用棚は、90°の角度をなして相対すると共に室内のコーナー部の鴨居等に取付固定される左右一対の支持部材と、これら支持部材の対向面間に架設された複数本の棚杆とから主構成されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】前記従来のものにあっ

ては、棚杆は支持部材に固定されていて棚杆と支持部材及び鴨居とのなす角度が一定(45°)である。このため、支持部材を鴨居に取付固定する際、支持部材の取付位置にハンガー掛け用のフック等の邪魔物が在る場合にその邪魔物を避けるべく、あるいは任意に、支持部材の取付位置をずらして棚杆と支持部材及び鴨居とのなす角度を任意の角度として取付固定することができなく、また、室内のコーナー部が 90°の角度をなしていない場合には、支持部材を取付固定することができなく、棚取付けの自由度が小さいものであった。

【0004】そこで本発明は、前記問題点を鑑みて、棚取付けの自由度が大なるコーナー用棚を提供することを主目的とするものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明が、前記目的を達成するために講じた技術的手段は、室内のコーナー部に所定の角度をなして相対するように取付配置される左右一対の支持部材 3 と、これら支持部材 3 の対向面間に架設された棚本体 4 とを備えてなるコーナー用棚において、前記棚本体 4 を各支持部材 3 に上下方向の軸心廻りに相対回動自在に支持した点にある。

【0006】前記棚本体 4 は左右方向に伸縮自在に構成するのがよい。各支持部材 3 に上方開口状の挿入孔 25 を形成し、棚本体 4 の左右両側下面側に前記挿入孔 25 に挿入される軸部 24 を設けて、棚本体 4 を各支持部材 3 に上下方向の軸心廻りに相対回動自在に支持するのがよい。前記挿入孔 25 は有底とするのがよい。

【0007】各支持部材 3 は、鴨居 2 等の被取付部材の上面に取付固定される上壁部 5 と、被取付部材の正面に取付固定される正面壁部 6 と、正面壁部 6 の正面側下部に設けられていて挿入孔 25 が設けられると共に棚本体 4 の下面を載置支持する受部 7 とを備えて構成される。棚本体 4 は、複数本の伸縮自在な棚杆 16 と、各棚杆 16 の左右端部に装着されると共に軸部 24 を有するベース部材 17 とを備えて構成される。

【0008】各支持部材 3 の正面壁部 6 の背面に配置固定されると共に鉛直壁面に取付固定される壁じかけ用アダプター 29 を備えるのがよい。

【0009】

【作用】室内のコーナー部に所定の角度をなして相対するように取付配置される左右一対の支持部材 3 の対向面間に架設された棚本体 4 が、各支持部材 3 に上下方向の軸心廻りに相対回動自在に支持されているので、棚本体と支持部材との角度を任意の角度として棚を取付固定でき、棚取付けの自由度が大である。

【0010】

【実施例】以下、本発明の実施例を図面に基づいて説明する。図 1 乃至図 18 は第 1 実施例を示し、図 1 において、1 は室内のコーナー部の鴨居 2 に取付けられる樹脂製のコーナー用棚であり、鴨居 2 に取付固定されて所定

角度（図面では90°）をなして対向するように取付配置される左右一対の支持部材3と、これら支持部材の対向面間に架設された棚本体4とを備えてなる。

【0011】支持部材3は、図2乃至図9に示すように、鴨居2の長手方向に沿って長く形成されており、鴨居2の上面に接当載置される上壁部5と、この上壁部5の前側端部から下向き延設されて鴨居2の正面に接当する正面壁部6と、この正面壁部6の正面下部に設けられた受部7とから構成されている。上壁部5と正面壁部6には釘孔8（或いはネジ挿通孔）が貫通形成されており、この釘孔8を通して鴨居2に打ち込まれる釘（或いはネジ）によって支持部材3が鴨居2に取付固定される。また、正面壁部6の下端は下向きの弧状に形成され、正面壁部6の長手方向両側にはネジ挿通孔9が形成されている。

【0012】受部7は、正面壁部6の下端から前側に延設されて下向きに湾曲状とされた底部10と、この受部底部10の延出端から上方に延設された正面部11と、この受部正面部11上端から前側に延設された延設部12と、受部正面部11と正面壁部6との間の長手方向中央部に位置されていて底部10から上方突出状とされた円筒状の筒部13とから構成されている。

【0013】受部底部10の延出端は長手方向に直交する方向に向く弧状に形成されており、したがって受部正面部11は長手方向に直交する方向に湾曲状とされている。また、延設部12の延出端部は上方に向けて屈曲され、筒部13は、下端が受部底部10で閉塞され、上方開口状とされ、受部正面部11と正面壁部6とに接合されて一体形成されている。

【0014】正面壁部6の長手方向両側のネジ挿通孔9の下方位置には、正面壁部6及び受部底部10を所定幅切り欠いて形成した切欠孔14が形成され、各切欠孔14の支持部材長手方向両側には正面壁部6及び受部底部10から一体的に延設された補強リブ15が設けられている。棚本体4は、図1に示すように、前後一対（3本以上であってもよい）の棚杆16と、各棚杆16の左右端部に装着される左右一対のベース部材17とを備えて構成されている。各棚杆16は大径パイプ16aと、この大径パイプ16aに棚杆16中央部側で摺動自在に挿入される小径パイプ16bとから構成されて伸縮自在とされている。図12及び13にも示すように、両大径パイプ16aの棚杆16中央部側端部は、小径パイプ16bを軸心方向摺動自在に挿通したパイプエンド18で連結されている。小径パイプ16b間には、図14にも示すように、両小径パイプ16bを近接方向に付勢させることで棚杆16の伸縮を規制するストッパ19が設けられる。

【0015】各ベース部材17は、図2、図10及び図11に示すように、上下方向対向状に配置された上下壁20、21を備え、これら上下壁20、21の前端側及

び左右方向内方側端部が連結壁22、23で、前後中途部が補強壁26で連結されている。また、下壁21には円筒状の軸部24が下方突出状に一体形成され、この軸部24が受部7の筒部13内側の挿入孔25に上方から挿入されると共に下壁21が受部延設部12の延出端部に載置されており、左右のベース部材17が左右の支持部材3に上下方向の軸心廻り相対回動自在に支持されている。

【0016】また、各ベース部材17の左右方向外端面は、軸部24が支持部材3の正面壁に接当する点を屈曲部として平面視への字状に形成されていて、この外端面が支持部材3の正面壁部6の正面に接当する範囲で回動されるようになっている。各ベース部材17の前後部には棚杆16の端部を挿入する挿入部28が設けられている。

【0017】前記支持部材3は、図15乃至図18に示す壁じかけ用アダプター29によって壁30にじかけできるようにしている。アダプター29は支持部材3の長手方向両側の背面側に配置され、各アダプター29は、支持部材3の正面壁部6の背面に接当する本体部31を備え、この本体部31の支持部材長手方向両側端部及び下端部は背面側に屈曲されて壁30に接当している。また、本体部31の背面側には、壁30に接当する両端開口状の筒部32が突設され、支持部材3の正面壁部6のネジ挿通孔9及び前記筒部32を通して挿通され、壁30にねじ込まれるネジ33によって、支持部材3が壁30にじかけされる。

【0018】また、本体部31の下部には、支持部材3の切欠孔14を介して正面壁部6の正面側に位置される立上壁34が延設され、この立上壁34の背面に支持部材3を受持する受部35が設けられている。図19乃至図21は第2実施例を示す。第1実施例との相違点を説明すると、棚本体4のベース部材17の上壁20には切欠孔36が形成され、支持部材3の正面壁部6の上部には弾性支持片37が突設され、この弾性支持片37の突出端には、前記切欠孔36の円弧部38に嵌合する平面視円形状に嵌合部39が設けられ、弾性支持片37の両側に正面壁部材6から突出する受部40が設けられている。

【0019】前記ベース部材17の左右方向外方端から該ベース部材17の上下壁20、21間に弾性支持片37及び受部40を挿入すると、嵌合部39がベース部材17の上壁20に相対的に押圧されて弾性支持片37が下方に弾性変形され、その状態で挿入されていく。そして、嵌合部39が切欠孔36に対応すると弾性支持片37の弾性変形が復元されて、嵌合部39が切欠孔36の円弧部38に嵌合し、ベース部材17と支持部材3とが上下方向の軸心廻りに相対回動自在に連結される。

【0020】

【発明の効果】本発明によれば、棚本体を各支持部材に

上下方向の軸心廻りに相対回動自在に支持したことによって、棚を、棚本体と支持部材とのなす角度を任意の角度として取付固定することができると共に、室内のコーナー部が90°の角度をなしていない場合にも、支持部材を取付固定することができ、棚取付けの自由度が大である。

【0021】前記棚本体を左右方向に伸縮自在に構成することによって、一方の支持を鴨居等に固定したまま、他方の支持部材を任意に位置に取付固定したり、二つの棚本体を前後に並設したり、一対の支持部材をそれぞれ

【0022】各支持部材に上方開口状の挿入孔を形成し、棚本体の左右両側下面側に前記挿入孔に挿入される軸部を設けて、棚本体を各支持部材に上下方向の軸心廻りに相対回動自在に支持することによって、棚取付けの際、支持部材を鴨居等に取付け、その後棚本体の軸部を支持部材の挿入孔に上方から挿入することで行われ、棚取付けが簡単であると共に、棚本体の被支持部の上下方向の厚さを十分に採れ、強い強度のものとすることができ

【0023】挿入孔を有底とすることで、下方側からの見栄えを良好なものとすることができる。各支持部材を、鴨居等の被取付部材の上面に取付固定される上壁部と、被取付部材の正面に取付固定される正面壁部と、正面壁部の正面側下部に設けられていて挿入孔が設けられると共に棚本体の下面を載置支持する受部とを備えて構成することによって、鴨居、長押に取付する場合、支持部材を固定する前に、支持部材を鴨居、長押に保持させたまま取付位置を任意の位置にずらせて行くことができ、棚取付けが容易である。

【0024】棚本体を、複数本の伸縮自在な棚杆と、各棚杆の左右端部に装着されると共に軸部を有するベース部材とを備えて構成することによって、棚本体の形成が簡単である。各支持部材の正面壁部の背面に配置固定されると共に鉛直壁面に取付固定される壁じかけ用アダプターを備えることによって、鴨居取付用の支持部材を鉛直壁面に取付固定できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】第1実施例に係るコーナー用棚の平面図であ *

＊る。

【図2】第1実施例に係るコーナー用棚の取付部の平面断面図である。

【図3】図2のA-A線矢示断面図である。

【図4】図2のB-B線矢示断面図である。

【図5】第1実施例に係る支持部材の正面図である。

【図6】第1実施例に係る支持部材の平面図である。

【図7】第1実施例に係る支持部材の側面図である。

【図8】第1実施例に係る支持部材の背面図である。

【図9】第1実施例に係る支持部材の底面図である。

【図10】第1実施例に係る棚本体のベース部材の正面図である。

【図11】第1実施例に係る棚本体のベース部材の側面図である。

【図12】パイプエンドの平面断面図である。

【図13】パイプエンドの側面図である。

【図14】ストッパの断面図である。

【図15】壁じかけアダプターの平面図である。

【図16】壁じかけアダプターの正面図である。

【図17】壁じかけアダプターの底面図である。

【図18】支持部材を壁じかけアダプターによって壁に取付けた状態を示す断面図である。

【図19】第2実施例に係る支持部材と棚本体のベース部材の斜視図である。

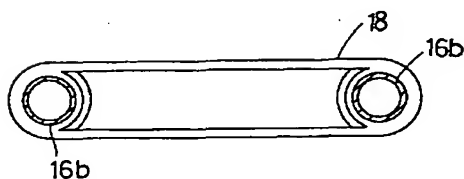
【図20】第2実施例に係るコーナー用棚の取付部の平面断面図である。

【図21】図20のC-C線矢示断面図である。

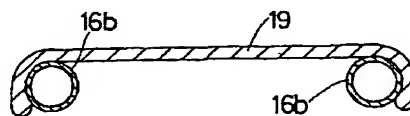
【符号の説明】

- | | |
|----|-----------|
| 1 | 棚 |
| 2 | 鴨居 |
| 3 | 支持部材 |
| 4 | 棚本体 |
| 5 | 上壁部 |
| 6 | 正面壁部 |
| 7 | 受部 |
| 16 | 棚杆 |
| 17 | ベース部材 |
| 24 | 軸部 |
| 25 | 挿入孔 |
| 29 | 壁じかけアダプター |

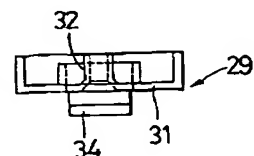
【図13】



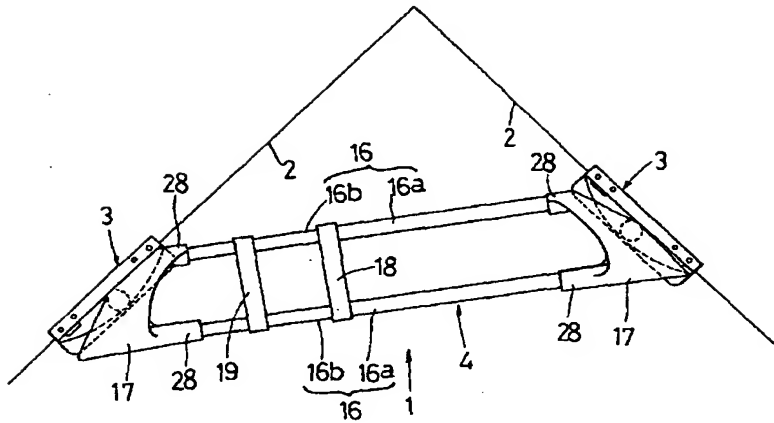
【図14】



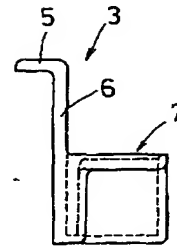
【図15】



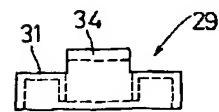
【図1】



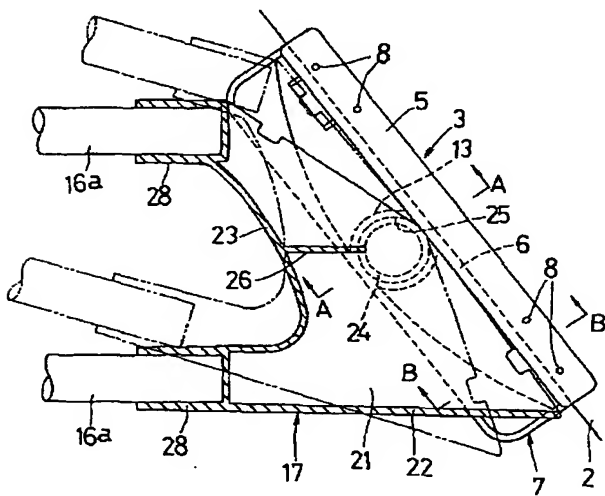
【図7】



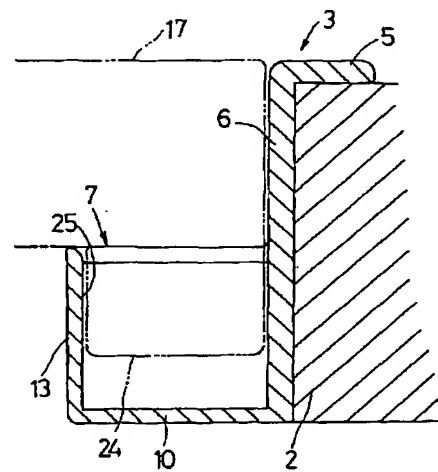
【図17】



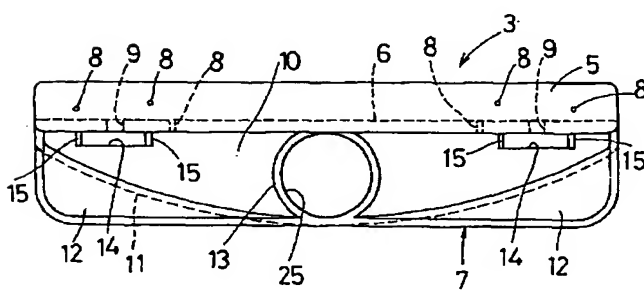
【図2】



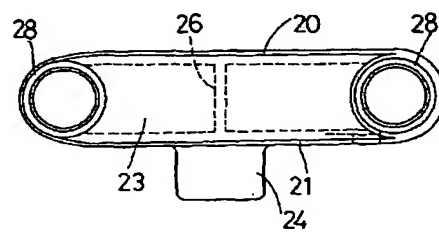
【図3】



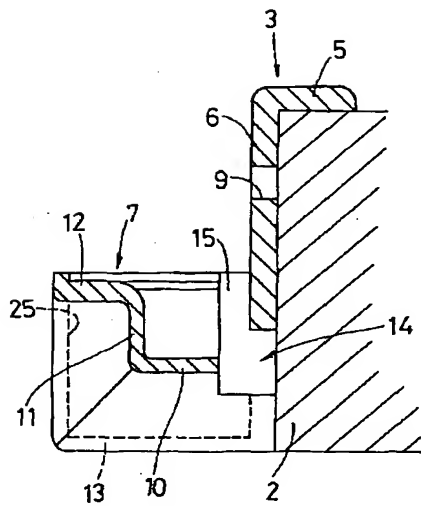
【図6】



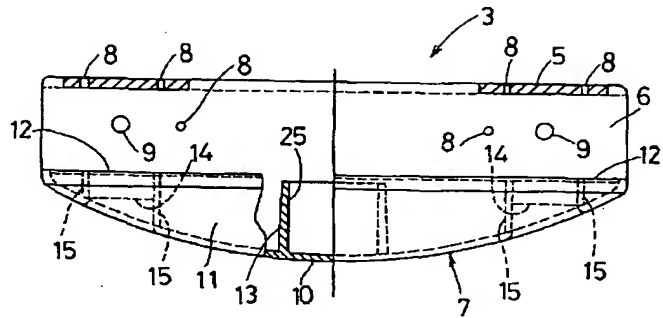
【図11】



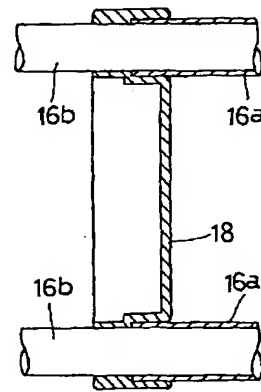
【図4】



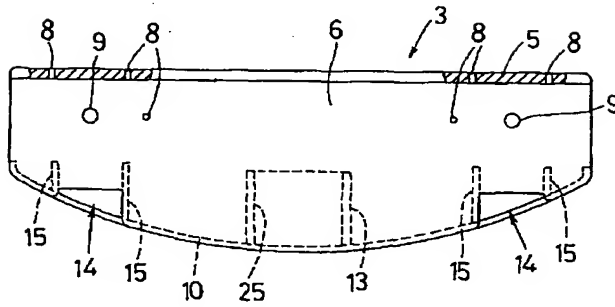
【図5】



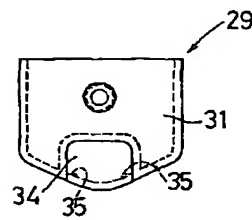
【図12】



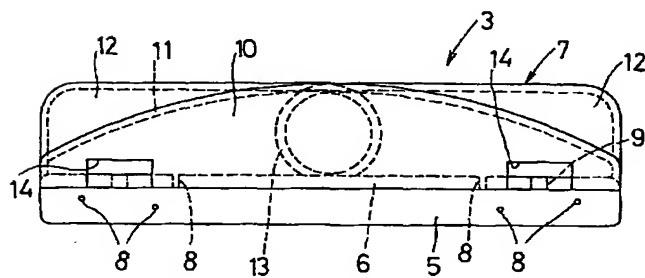
【図8】



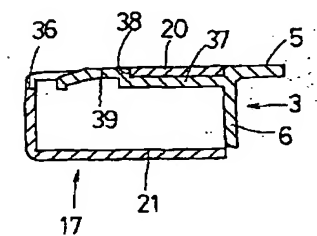
【図16】



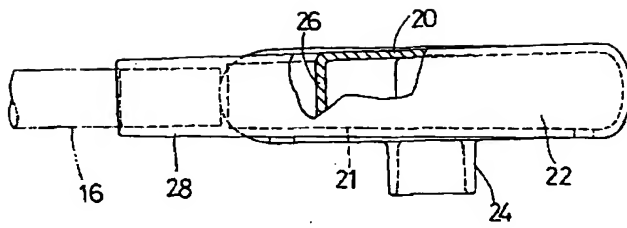
【図9】



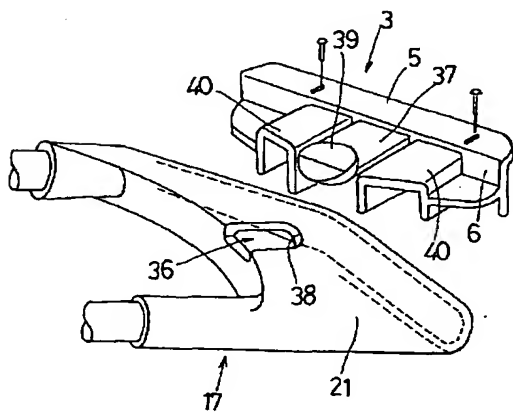
【図21】



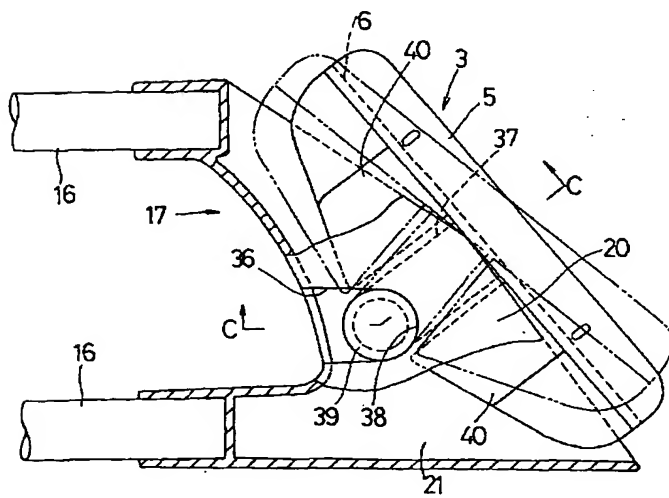
【図10】



【図19】



【図20】



【図18】

